学校番号	T0110

平成３１年度　数学科

教科	数学科	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校数学Ｂ　新訂版（実教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・数列、ベクトル及び確率変数と統計的な推測について、問題を表現・処理する方法を学習します。
・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表したり、議論したりする活動を行います。
・授業中に行う練習プリントは、ファイル・教科書等を参考にして学習内容の確認のためのものです。最後まであきらめずに取り組みましょう。
・所定の用紙に黒板に書かれた内容等を書きファイルに綴じてください。
また、後で練習プリントでの学習のときなど、見直しのときにわかるようにていねいに書くようにしてください。

２　学習の到達目標

確率分布と統計的な推測、数列又はベクトルについて理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを活用する態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	数列、ベクトル及び確率変数と統計的な推測に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数列、ベクトル及び確率変数と統計的な推測における数学的な見方や考え方を身に付けている。	数列、ベクトル及び確率変数と統計的な推測において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	数列、ベクトル及び確率変数と統計的な推測における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身につけている。
評価方法	提出物 出席状況 観察等	提出物 定期考査 観察等	提出物 定期考査 観察等	提出物 定期考査 観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="5">前期</td><td rowspan="3">数列</td><td>数列とその和</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="3">a:数列を漸化式で表すことのよさをとらえようとする。
b:ある規則に従って並べられた数の列の規則性について考察することができる。
c:記号Σを用いて、数列の和を表す事ができる。
Σを用いた和の計算ができる。
d:数学的帰納法の意味を理解し、その扱い方などについて基礎的な知識を身に付いている。</td><td rowspan="3">提出物
出席状況
定期考査
観察等</td></tr>
<tr><td>いろいろな数列</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>漸化式と数学的帰納法</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="5">後期</td><td rowspan="4">ベクトル</td><td>平面上のベクトル</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="4">a:空間ベクトルに関心をもち、調べようとする。
b:いろいろな平面図形の性質を、ベクトルを用いて考察することができる。
c:ベクトルの性質を用いて、相等しいベクトルを求めることができる。
d:基本ベクトルやベクトルの成分について理解し、基礎的な知識を身に付いている。</td><td rowspan="4">提出物
出席状況
定期考査
観察等</td></tr>
<tr><td>ベクトルの成分と内積</td><td></td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>位置ベクトルと図形</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>空間におけるベクトル</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">確率変数と統計的な推測</td><td>確率変数</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td rowspan="2">a:確率変数に関心をもち、確率分布を表に示そうとする。
b:連続的な確率変数について考察することができる。
身の回りのいろいろなデータを正規分布を用いて考察できる。</td><td rowspan="2">提出物
出席状況
定期考査
観察等</td></tr>
<tr><td>正規分布</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr>
</table>

		統計的な推測				○	c:確率変数の確率分布を、表に的確に表すことができる。 d:標本平均の平均と母平均、標本平均の標準偏差と母標準偏差の関係について理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:数学的な見方や考え方
　　c:数学的な技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。